

# 99年度 原子核三者若手 夏の学校

## 三者総会議事録

99/7/24

文責・新潟大学(三者事務局)  
飯島 洋太 iijima@muse.hep.sc.niigata-u.ac.jp  
下山 法之 simoyama@muse.hep.sc.niigata-u.ac.jp

各議題の詳細については、議案書を参照されたい。本議事録では主に、三者総会での追加説明、議決内容について報告する。なお、議事録編集の都合上、議案書や実際の議事と順序が異なる場合があるが、御了承いただきたい。

### 1 三者名簿校(名古屋大)

現在の名簿校の仕事は、yonupa-ml,homepage-mlの管理と若手名簿の作成であるが、この2つは独立した仕事であるので学生数の少ない研究室でも引き受けられるように分割することが提案された。しかし、新たなローテーション校が加わらない限り、ローテーションが早く回ってきてしまうという問題点が指摘された。これに対して、学生数の多い大学が受け持つ場合は名簿校の仕事を従来通りとし、学生数が少ない大学は分割して担当してもらうことにするという提案がなされ、承認された。

### 2 三者準備校(東工大、九州大)

議案書を参照されたい。

### 3 三者センター校(北海道大)

#### 3.1 夏の学校の改革

今回の夏の学校では、若手活動の活性化のために、センター校が中心となって次のような新しい企画が行なわれた。

- 三者共通講義
- DC アブストラクトの作成
- ポスターセッション

#### 3.2 決算見積り

講義録印刷費が基研の印刷費補助(20万円)を越えたことと、学生旅費補助を素粒子論グループの要請に従って増額したこと(98年度実績+469,072円)により、現時点では

収入合計:2,251,000

支出合計:2,443,092

---

残額: -192,092

のように赤字となるが、基研の講師旅費補助(50万円)から Review Talker への謝金及び Topics 講師への謝金の一部を支出可能であるので、最終的な赤字額は上記 192,092 円より少ないことが予想される。詳細については秋の学会で報告することになる。

#### 4 財源 WG(北海道大、新潟大)

財源について報告がなされた。この報告を参考に、2000年度の各役職校が実際に活動して頂くよう要請された。また、この財源 WG の引き継ぎはなされず、必要に応じてその時の役職校が発足するものとする。

補足 今年度は、どの役職校にも宿泊費補助は支出されていない。今後、宿泊費補助をどうするかについて、「準備校などの仕事の大変さを考慮して支出する方向も考えていく」か、「宿泊費補助は支出しない」かを総会の参加者に問うたところ、前者の意見に多数がしめたことを補足として記す。

#### 5 三者事務局(新潟大)

##### 5.1 講義録作成の財源

講義録は RCNP から補助は得られず、基研からの印刷費援助のみをベースとして作成された。1 研究室 1 部を最低限として 150 部作成されたが、約 30 万かかり追加予算が必要となった。今後、ページ数を制限するなどして、基研からの印刷費援助で収まるようにする。それでも足が出たときの財源は、参加費の一部を使用することも含めて考慮する。

##### 5.2 再来年度以降の講義録作成

現在は講義録作成(98年度夏の学校の講義録は98年度の事務局が作成)のため、2年ごととなっている事務局の仕事を、再来年度以降、例えば

- 2000年度の講義録は2001年度の事務局が作成する

ことで、事務局の仕事を1年で終了する形に持っていくことが提案され、承認された。移行段階として、99年度の講義録は99年度事務局が作成し、2000年度の事務局は講義録作成がない。

## 6 2001年度三者役職校選出

### 6.1 新たなローテーション校

現在三者四役のローテーションに入っていない大学にも四役の仕事を積極的にやって頂こうということが、昨年の三者総会において決定している。今回の総会では、

茨城大、千葉大、大阪市立大

が、次の要望のもとに三者の仕事に参加して頂くことになった。

- 三者事務局・センター・準備校の担当は外してもらい、名簿校の仕事（若手名簿の作成・yonupa-ml-homepageの管理）を分割して担当する
- 今後も、同様に三者の仕事を担当する大学を増やしていく

### 6.2 2001年度の役職校

	事務局	センター	準備校	名簿校	ML・HP 管理校*
1999年度	新潟大	北大	東工大・九大	名大	-
2000年度	筑波大	都立大	広島大	金沢大	-
2001年度	東大	阪大	東北大	大阪市立大	茨城大

\*今回の議事録にあるように名簿校の担当を分割した場合

### 6.3 三者の責任校と役職の任期

三者の責任校は、三者センター校である。重要な連絡事項等が自分のところにきた場合、必ず三者センター校に連絡するようにする。また、各三者役職の任期は夏の学校のあと引き継ぎを受けてから、次の担当校に引き継いだあとの秋の学会における三者総会までである。

## 7 PD問題

近年厳しさを増しているPD問題について報告がなされた。今回は現状の紹介に留まり、若手としてWorking Groupを作り活動していくまでにはならなかった。今後、各々が現状を認識し、その上で若手全体として何ができるか、議論していく必要がある。PD問題についての詳しい情報は、PDフォーラムのホームページを参照して頂きたい。

- <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/pdforum>